

新本庁舎整備パターン（案）の比較

| 整備 | 1 棟整備パターン | | | | 2 棟整備パターン | |
|--------------|---|---|--|--|---|--|
| 配置 | 東側配置 | 西側配置 | 中央配置 | 南側配置 | 東西配置 | 南北配置 |
| 配置イメージ | | | | | | |
| 【配置概要】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ I 期工事範囲内に高層建物 1 棟で構成 ・ シンプルでコンパクトな基準階の配置 ・ 市民広場に対して正面性を確保した配置 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地北側に確保可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ I 期工事範囲内に高層建物 1 棟で構成 ・ シンプルでコンパクトな基準階の配置 ・ 東側（勾当台通）に対して正面性を確保した配置 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地北側に確保可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ I 期工事範囲内に高層建物 1 棟で構成 ・ シンプルでコンパクトな基準階の配置 ・ 市民広場や一番町商店街に対して正面性を確保した配置 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地北側に確保可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ I 期工事範囲内に中高層建物 1 棟で構成 ・ シンプルで大きな基準階の配置 ・ 市民広場や一番町商店街に対して正面性を確保した配置 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地北側に確保可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現本庁舎機能をそのままに I 期 A 棟を配置 ・ I 期と II 期の高層建物 2 棟で構成 ・ シンプルでコンパクトな正方形の基準階 A 棟と南北軸型の基準階 B 棟を配置 ・ 市民広場に対して正面性を確保した A 棟の配置 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地北側に確保可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ I 期と II 期の中高層建物 2 棟で構成 ・ シンプルでコンパクトな東西軸型の基準階を 2 棟配置 ・ 市民広場や一番町商店街に対して正面性を確保した配置 ・ 将来の建替用地は敷地南側に確保する必要 ・ 数十年後新本庁舎を建て替えるための用地を本庁舎敷地南側に確保することとなる可能性 |
| 外皮熱性能の比較 ※1 | 1.03 | 1.15 | 1.10 | 1.00 | 1.38 | 1.31 |
| イニシャルコスト比 ※2 | 1.040 | 1.047 | 1.047 | 1.000 | 1.061 | 1.050 |

※1 想定される一般的な外壁・屋上の仕様から得られる空調の消費エネルギーの数値が最も低いケースを 1.0 とした場合の各案の比率。 ※2 イニシャルコスト比には、仮移転の際の賃料等は含まれていない。